

未来そうぞう科学習指導案

1年2組 大和 明日香

1. 単元名 B だいすき なかま 「みんなをハッピーメイキング！」

2. 研究主題

未来を「そうぞう」する子どもを育成するためのカリキュラム開発

(1) 単元について

子どもたちは、小学校に入学してから「ハッピーメイキング」をテーマに運動会や音楽会、学級交流などに取り組んできた。この「ハッピーメイキング」というテーマは、毎日を友だちと過ごす中で、自分だけの喜びや幸せを見つめるばかりではなく、みんなで喜び、みんなにとって幸せだからこそ自分の喜びや幸せも大きくなる。だから、みんな自身でハッピーを創り出していこうと設定したテーマである。2学期におこなった「5年生とハッピーメイキング」では、「5年生にどんなことをしたいか聞きに行こう。」や「ルールを変えたら、1年生も5年生も楽しくなる。」と、自分の思いだけで進んだり、相手に言われるまま何も考えずに動いたりするのではなく、一緒に楽しく遊ぶための新しい工夫を創造している姿が見られた。

本単元では2学期までの学びを生かして、次にハッピーにしたい相手を考えていく。子どもたちが考えるハッピーにしたい相手は、同じ学級の友だちだけに留まらず、他学年のお兄さん・お姉さん、家族や来年度入学してくる幼稚園の子どもたち、地域の方など多岐に渡ると考える。どのようにハッピーメイキングするかを考える過程では、はじめに「自分たちがハッピーにしたい相手としたいこと」から考えはじめ、「その相手としたいこと、できること」へと視点をしばっていくことで、相手の考えに思いを寄せることができるようにする。今回の活動では、ハッピーにしたい対象の相手が学校内にいない場合が想定されるため、自分たちだけでは考えることが難しい場面に出合うこともあると考える。さらに、自分たちより年上の相手だけでなく、次の1年生は子どもたちにとって、はじめて自分たちより年下の相手をハッピーメイキングすることにもなる。そのようなときでも、「わからない。」「できない。」とあきらめてしまうのではなく、友だちのアイデアやアドバイスに耳を傾けたり、相手に聞きにいたり、今まで経験してきたことを取り入れたりしながら、みんなでハッピーになることを目指して準備を進めていってほしいと願っている。

(2) 単元の目標

主体的実践力	協働的実践力	創造的実践力
みんなが楽しくなるための活動を自ら進んで考え、参加することができる。	みんなをハッピーにすることができるように、意見を聞きながら活動することができる。	みんなをハッピーにするための、様々な発想をもつことができる。

(3) 活動構成の仮説

「想像」と「創造」を繰り返すことによって、相手の思いを考えながら、よりより集団をそうぞうすることができる。

1年生は、相手の立場になって考えたり、自分たちで企画を考え、司会をしたりして全体に活動を提案していくことは、まだ難しい段階である。そこで、相手はどう感じるか思いを寄せたり、実際に試してみたりというように「想像」と「創造」を往還することによって、自分を含めた集団をハッピーにするために、自分たちができる方法を見つけて、自分たちの願いを実現させることができると考えられる。

3. 単元計画 (全18時間 本時6時間目)

学びの過程	学習活動と問題意識	子どもの意識	指導者の役割	指導者の評価		
				主体的実践力	協働的実践力	創造的実践力
現状把握的 想像	1. 「ハッピーメイキングしたい相手」を考えよう。【1時間】 ・その相手をどのように、なぜハッピーメイキングしたいのかを考える	仲良しの友だちや家族、先生たちやお兄さん・お姉さん…次はだれをハッピーメイキングしようかな。	・ハッピーにしたい相手を、どうしてハッピーにしたいのか理由とともに考えることができるようにする。	・ハッピーにしたい相手を自ら進んで考えている。	・友だちのアイデアを聞いたり、未来ノートを見たりして、自分のハッピーメイキングに生かす。	・家族が楽しくなるための様々な工夫を考えている。
課題解決的 創造	2. 家族をハッピーメイキングしよう。【2時間】	プレゼントを渡したら、おうちの人が笑顔になってくれそうだよ。 「ありがとう。」っていつもらって、うれしかったよ。	・家族の姿を思い出しながら、自分たちの活動を振り返ることができるようにする。	・家族が楽しくなるための活動を自ら進んで考えて、参加している。	・話し合う中で、気付いたことを伝えたり友だちの話の聞いたりして活動している。	・相手が楽しくなるためにアドバイスを取り入れたり、様々な工夫を考えている。
検証的想像	3. みんなをハッピーメイキングするためにしたいことを考えよう。【4時間】 本時 ・「自分たちがしたいこと」から「一緒にしたいこと」を考える。 ・相手をハッピーにするためのアイデアを共有する。	どんなことを一緒にしたいかな。わくわくするよ。 5年生のときみたいに、アンケートをして、何がすきなのか聞いてみたいな。	・自分だけが楽しい活動ではなく、「みんなで楽しんでもできる活動」を考えていくことができるようにする	・みんなが楽しくなるための活動を自ら進んで考えている。	・話し合う中で、気付いたことを伝えたり友だちの話の聞いたりして活動している。	・相手が楽しくなるためにアドバイスを取り入れたり、様々な工夫を考えている。
課題解決的 創造	4. ハッピーメイキングするための準備をしよう。【5時間】 ・未来ノートに書きためたことを生かす。	この遊びのルールを変えたら、みんなでハッピーになれそうだよ。	・決めた活動をどうすれば実現できるかを考えられるようにする。	・みんなが楽しくなるために必要なことを考え、自ら進んで活動している。	・みんながハッピーになるために、友だちの意見を聞きながら、活動している。	・他の班の様子から、自分たちの班に活かしていることを見つけ、工夫をしている。
検証的想像	5. みんなをハッピーメイキングしよう。【2時間】 ・みんながハッピーになっていたかを考える。	何を準備しておくといいかな。友だちそうじの司会をしたときのことを思い出してみよう。	・相手にどうしてもらおうのかわくわくではなく、自分が何をするといいと思うのかを考えるよう促す。	・決めた活動に、これまで話し合ったことを思い出しながら、楽しんで参加している。	・友だちやハッピーにした相手の意見を聞きながら活動している。	・決まった活動を実現していくために様々な工夫を考え、取り組んでいる。
発展提案的 創造	6. もっとハッピーをメイキングするために次の目標を考えよう。【3時間】	すごく喜んでくれている。がんばって準備できてよかったな。	・自分の考えをわかりやすく伝えたり、友だちの考えを柔軟に受け入れたりしている姿があれば、励ましや称讃の声をかけ、みんなで考えることよさを感知取ることができるようにする。	・今までの感想や友だちの話をもとに、次の目標を考えている。	・友だちのふりかえりを聞いたり、ハッピーになった具体的な場面を伝えたりしている。	・本単元で学んだことをさらに発展させたり、自分たちの生活の中に活かしたりできるかを考えている。
現状把握的 想像	7. ハッピーメイキングのこつをふりかえろう。【1時間】	みんなでハッピーメイキングできたよ。みんなが笑顔だととても気持ちがいいね。		・これまでの活動をふりかえり、ハッピーメイキングのこつを進んで考えている。	・考えを聞いたり、伝えたりして、自分の考えを深めている。	